

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【公開番号】特開2017-85424(P2017-85424A)

【公開日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2017-018

【出願番号】特願2015-213414(P2015-213414)

【国際特許分類】

H 03K 7/08 (2006.01)

H 03F 3/345 (2006.01)

H 02M 3/155 (2006.01)

【F I】

H 03K 7/08 B

H 03F 3/345 B

H 02M 3/155 P

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

本発明にあっては、制御部は、N個全ての設定可能値の平均的な値が目標の値に最も近くなるようにN個の設定可能値を決定する。

これにより、信号のN周期全体について、発生部に設定されたN個の設定可能値の平均的な値が目標の値に最も近くなる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

第4設定値が決定される場合、第1設定値と、第2設定値と、第3設定値と、第4設定値の2つの候補値夫々との平均値のうち、どちらがXに近いのかが判定される。この場合、第1設定値はYであり、第2設定値はZ(=Y+1)であり、第3設定値はYであり、第4設定値の2つの候補値はY又はZであるから、YとY+1とYとYとの平均値であるY+1/4、及びYとY+1とYとY+1との平均値であるY+2/4のうちのどちらがXに近いのかが判定される。図6の場合は、Y+1/4よりもY+2/4の方がXに近いため、第4設定値はZと決定される。